

事業名	出流原PA周辺総合物流開発推進事業	実施計画事業or一般事業	計画画事	市長公約①	5-①	市長公約②	Ⅱ-③	総合戦略	該当あり
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計		事業計画	単年度繰り返し
	課	企業誘致課				款		新規or継続	継続事業
	係	産業団地整備係				項		市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	1131	名称	根拠法令、条例等		目		義務or任意	任意的事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業期間	開始年度	H30	実施方法	直営
	政策	1	企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり			終了年度		事業分類	その他市民に対する事業
	施策	3	出流原 P A 周辺開発の推進						
	基本事業	1	出流原 P A 周辺総合物流開発整備の推進						
				出流原PA周辺総合物流開発整備事業方針					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	出流原 P A 周辺総合物流開発整備事業方針に基づきインランドポート核とした総合物流拠点の創出に向けて産業振興エリアの民間開発を推進する。
------	---

(2) 目的

(3) 目標値

↓選択して下さい

(2) 目的		(3) 目標値			↓選択して下さい	後期計画			
目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	高速交通の要衝としての立地を活用し、インランドポートを核とした総合物流拠点の民間開発を推進することにより企業誘致につなげていく。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		立地件数（累計）	件	値が大きいほど良い	1				

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R7年度に 行った主な活 動内容)	問合せのあった企業に対して、産業振興エリアの案内を行った。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		問合せに対する対応件数	件	-	33	32	30
		事業費計	千円	23	0	0	0
		一般財源	千円	23			
		特定財源（国・県・他） （うち受益者負担）	千円				

(3) 活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果説明	対象区域への民間開発の推進	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		立地件数（累計）	件	0	0	0	1	効果が上がった	○

(5) 目標達成、効果、費用増減 (自動判定)

目標達成	目標達成した指標数	1指標					効果		
	目標未達成だった指標数	0指標					効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
効果 (R7に過去3年平均 の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	目標達成	達成	1指標				
	効果は変わらない指標数	0指標		未達成					
	効果が下がった指標数	0指標		目標未設定					
	指標全体	効果が上がった							
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用の増減無し	※ 1 0万円以上の増減により判断						

※ 10万円以上の増減により判断

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

産業振興エリアへの誘致活動については、今後は企業誘致活動事業内で行うこととする。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

- ☒ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成）
☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む）
☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討
☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討
☐ その他の検討
☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	
事業終了	

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	出流原スマートインターチェンジフォローアップ事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当あり
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	都市建設部		予算中事業名	予算科目	会計		事業計画	単年度繰り返し
	課	交通政策課				款		新規or継続	継続事業
	係	交通政策係				項		市単独or国庫補助	市単独事業
政策体系	体系コード	1132	名称	根拠法令、条例等		目		義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業期間	開始年度	R5	実施方法	直営
	政策	1	企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり			終了年度	－	事業分類	検査・調査事務
	施策	3	出流原 P A 周辺開発の推進						
	基本事業	2	(仮称) 出流原 P A スマートインターチェンジ整備の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	スマートインターチェンジ整備事業制度実施要綱第5.2に基づき地区協議会を設置し、当該スマートインターチェンジ供用後の利用交通量、管理・運営形態等について、フォローアップを行う。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	スマートインターチェンジ供用後継続して、その社会便益・安全性・利用交通量・管理・運営形態・利用促進促進方策等について、定期的にフォローアップし、必要に応じて見直すものとする。	(3) 目標値	↓選択して下さい		後期計画				
		効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		計画交通量	日/台	値が大きいほど良い	1500	1550	1600	1650	1700

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	・スマートインターチェンジの利用状況確認 ・スマートインターチェンジ周辺イベントチラシへの掲載調整	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		国道293号線、佐野田沼線交差点	台		19,184	-	-
		国道293号線、山形・寺岡線交差点	台		14,997	-	-
		桐生田沼線・山形寺岡線交差点	台		6,515	-	-
		事業費計	千円	0	1,980	0	0
		一般財源	千円		1,980		
		特定財源（国・県・他）	千円				
		(うち受益者負担)	千円				

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明	計画交通量の目標値としている1,500台/日に至らなかったが、昨年より179台/日増加している。 (入車・出車台数/1月～12月総数を日数で除した数)	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		利用交通量	日/台		1159	1292	1471	効果が上がった	×

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

(5) 目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果		
	目標未達成だった指標数	1指標			
	効果が上がった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標	目標達成	未達成	1指標
	効果が下がった指標数	0指標	目標未設定		
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	指標全体	効果が上がった			
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・SIC利用者は増加しているため、今後の利用状況の推移を確認しながらさらなる利用促進策を検討する。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 ・出流原SICの利用状況確認並びに利用者向上に向けた周知方法の検討
---	---